

## 震災対策

### 宝永津波活かし高台移転を

### 望ましいが長期的スパンで



みょうじん てるお 議員  
明神 照男

えるがいかがか。

また、佐賀地区は大方のよ  
うに高台に公共施設も住宅適  
地もない。高規格道工事の残  
土で宅地造成はできないか。  
更に、残土処理による環境  
汚染対策を聞く。

**答** 大西町長

**問** 新庁舎位置は、南海地震  
の津波を考えると高台に変更  
する案には賛成だ。問題は宝  
永地震で百余尺の津波がきて、  
佐賀・大方の主な在在所が亡所  
との記録がある。現在の案の  
スケン谷は役場は残るが町が  
消え、多くの犠牲者が考えら  
れるがこれで良いのか。

東北沿岸部の映像が明日の  
我が町と思う時、30m以上の  
所に庁舎と居住地移転を提案  
する。今取り組めば将来の被  
害も復旧費用も少なく、この  
事こそが政治本来の責任と考

防災対策の観点から指摘の  
高台移転の政策誘導が望まし  
いが、長期的スパンで考える  
問題だ。現段階は高台移転の  
余地を残して避難道、避難場  
所整備を優先したい。

現在残土による佐賀の住宅  
造成計画は無いが、検討する  
必要は充分にある。

残土による汚染は、国交省  
と調整を行い、環境汚染が起  
きない様に施工したい。県漁  
協と話しはしている。

## 漁業資源

保護と  
大型漁礁設置を

総量規制が  
必要では

**問** カツオの回遊が減少して  
曳き縄漁の水揚げも無くカツ  
オ漁は終わる。

以前から漁業の存続は大型  
漁礁沈設とITQしか無いと  
言ってきたが町の取組みを聞  
く。

**答** 大西町長

カツオ資源についてはカツ  
オ学会とは別に資源管理上、  
網による乱獲禁止等のためT  
ACの導入も検討すべきと考  
える。

町の振興策として施設整備、  
カツオ関連事業、金融対策、  
情報収集などを引き続き行っ  
ていく。

## エネルギー問題

原発に頼らない  
まちづくり

再稼働は議論を

**問** 原発に頼らない町づくり  
に取り組むべきだ。

伊方原発の再稼働について  
聞く。  
ソーラ発電の町内公共施設  
での活用は。

**答** 大西町長

再稼働はこれまで原子力村  
と言われてきたような閉鎖的  
な状況での判断でなく、最大  
限多くの議論がされるべきだ。

危機管理体制も充分とは言え  
ず国民的論議を講ずべきと思  
う。

ソーラ発電は、佐賀庁舎と  
大方くじら保育園には設置し  
ているが、消防署は計画して  
いない。新庁舎は検討中。

### その他の質問

※TPPについて  
※武道必須について



「日本カツオ学会」挨拶に立つ町長